



平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神と呼ばれる。(聖書より)

## 巻頭言「こどもの活躍の為に」

2022 年末から 23 年上半期は、コロナの影響が大きいものの NCM ジャパンが進める子ども支援プロジェクトにとっては大きな飛躍のときでした。22 年 12 月に京都市の中小企業体が中心に進め右京区がバックアップする子ども対象大型イベント『右京子ども仕事博』が開催され、当団体の子ども支援プロジェクトに関わっている中高生・大学生がボランティアとして参加。イベント主催者や右京区長から「数千名を超える来場者をしっかりフォローアップしてくれた」とお礼の言葉を頂きました。



## NPO 法人 NCM ジャパン代表 篠澤俊一郎

23 年 2 月には京都：門川市長が NCM ジャパンの子ども支援の現状をヒアリング・視察・子ども達と 1 時間に及ぶ懇親のときを持ってくださいました。



京都市は約 145 万人の人口を抱えた政令指定都市ですが、子どもの貧困問題はこの 5 年で改善はされてきたものの貧困率は全国で 10 位、政令指定都市としては 2 位

とまだまだ高い状況です。3 月には右京区で行われた『右京区民議』にも出展させて頂き、この現状の変えていく必要性を区民の方々にお伝えする機会が与えられました。

NCM ジャパンはこの大きな課題の最前線で活動しております。子ども支援の重要性をより多くの方々に伝えていく必要性をひしひしと感じております。

まだまだ皆様のご協力が必要です。どうぞ何卒ご支援の程、よろしく願いいたします。

## 今号の内容

- ・利尻新プロジェクト
- ・おむすびミーティング  
～京都市長との懇談～  
右京区との2つ協働紹介
- ・おむすび食堂  
会員募集

## ●利尻新プロジェクト<オンライン交流会>

<島活プロジェクトの新たな形>

元々、本プロジェクトは現在社会人で NCM の学生ボランティアをされていた市倉さんという方が「京都市の子どもたちに利尻島を第二の故郷と感じてほしい」という夢があったからこそ始められたプロジェクトになります。

そして二代目となるボランティア大学生の星さんも「子どもたちのために交流を続けなければならない」という想いのもと指揮をとってこられたと聞いております。

そして三代目となる私、他田は「利尻島に行くことが京都の子どもたちにとっての夢である」という自身の考えに加え、「京都と利尻で金銭面などに阻害されることなく誰もが参加できるような交流を実現させたい（京都と利尻で相互交流を実現させたい）」と



いう夢があったためオンラインによる交流会を始動させました。2 か月に一回ほどのスパンで現在も進めております。当プロジェクトは年数を重ねるに連れ、様々な形へと変化しています。今後は、コロナで閉塞感のある学生たちのためにも【学生時代に成し遂げてみたい夢】を大切にしたいプロジェクトとしても整えていこうと思います。立命館大学：他田直生



# ～京都門川市長との会談～ おむすびミーティング

2023年2月に子ども支援の会場となっている日本ナザレン教団花園キリスト教会にて京都門川市長と子ども支援プロジェクトに関わっている中高生や大学生が1時間、子ども支援(利尻プロジェクト)の現状・あり方・活動について会談が行われました。

報告は立命館大学の安藤倅次朗さんです。

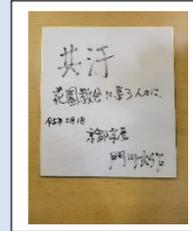
<感想>

京都門川市長との会談では、スライドを使って、北海道・利尻島で行ったワイヤーアートのことや利尻の子どもたちとの交流で感じたことについて市長に報告を行いました。このプロジェクトに参加した高校生と中学生も前に出て市長に利尻でのことを堂々と報告していました。これを見て私は子ども達の成長をすごく感じました。市長をはじめ市役所、右京区の方が多くいて緊張もしたと思いますが、2人とも堂々として喋っており、訪問された人たちからたくさんお褒めの言葉をいただいております、本当に素晴らしいなと思いました。また今回の会談で、北海道・利尻プロジェクトの1つの区切りになるとも考えられ、プロジェクトメンバーも報告することによって今後の目標も定まったのではないかと思います。

報告を聞いたり、市長の話聞く中で NCM が進める利尻と京都をつなぐことの大切さを実感しました。

私はまだ新参者ですが、このような機会に参加することができ嬉しく思います。

今回はとても貴重な機会であり、今後の糧になると思います。



門川市長が私たちへの言葉

共に汗をかき歩いていく【共汗】



## ～京都市右京区との2つ協働イベント～

22年12月に行われた『右京こども仕事博』ボランティア<報告>

当日はチケット対応チーム:8名、マルシェ(市場)対応チーム:7名に分かれて約10時間、3000人近い人の対応を行いました。

最後に支部長より私たちの働きに心からの感謝を頂き、私たちがいなければ上手く回らなかったという程、絶賛頂きました。ひとりひとりが、自分たちで考え・行動した結果です。NCMの日頃の活動が第三者・そして大舞台でも活躍できる事を示した客観的な事柄(大型イベント)だったと思います。

チケット対応チームは、数千人の交通整理を一手に任されましたが、メガホン片手にしっかり誘導し事故・トラブルなくスムーズに行う事が出来ました。



マルシェ対応チームは、子どもが買い物する際、買える品物について丁寧に説明したり、呼子になるなどして、売り上げに貢献しました。

23年3月に行われた『右京区民会議』子ども支援について出展<報告>

ボランティア10名が参加。

右京区役所で右京区内で様々な活動をされている方がいっぺんにブースを展開して活動を紹介されていました。話し合いだけでなくブースを見て回るのも楽しくとても貴重な時間になりました。最年少の小学5年生の当プロジェクトの男の子が頑張っていて本日の MVP として全体で褒められていました。

京都文教大学:辻 捷馬



## ●23 年度新プロジェクト:おむすび食堂

NCM ジャパンはこれまで貧困家庭や母子世帯を中心に毎週、物資支援を進めてきました。

その中で見えてきた課題が、援助を受ける世帯の子どもは、中学生までは給食等の食事提供を行政から貰えるが、高校生になると難しくなり、食事を支給されてきた子どもは、料理を覚える機会がほとんどないため、結果コンビニ弁当等の購入で食事するようになり家計を圧迫し、貧困状態からの脱却をより難しくしている現状です。

そのため NCM ジャパンは22年1月より、そのような子どもを対象とした料理教室:食術支援を進めてきました。

食術支援は、自炊するための調理法・しかも簡単に短時間で行う。これを中高生のうちに術(すべ)として学ぶ事に特化しています。これまで50回以上の食術支援で中高生の料理技術は飛躍的に向上し、今では冷蔵庫にあるもので美味しく調理する術が身についています。そんな技術を披露できる場所として『おむすび食堂』プロジェクトが始動しました!



おむすび食堂は月一回行われています。

従来の子ども食堂とは違い、『おむすび食堂』では食術支援で術を学んでいる中高生たちが食事を提供し、同じような境遇に合う子ども達にしっかり料理を学ぶ機会・きっかけ作りの場、そして地域交流・まちづくりの一環としての機能も果たすのがこの『おむすび食堂』となります。

さらにそのおむすび食堂では、若者の夢を実現する・研究しているプレゼンの場や演奏を披露するサロン化も目指します。

現在、イベントとして開催し、すでに若きイラストレーターがプレゼンを行いました!



### 賛助会員を募集しています!

NCM ジャパンの活動:

災害支援・子ども支援・国際支援を行っています。

それらの活動の下支えは、賛助会員の会員費・寄付等で支えられています。

どうぞ NCM 活動にご協力・ご支援の程、宜しくお願いいたします。

	入会金 (入会時のみ)	年会費 (毎年口数変更可)
個人	2000 円	6,000 円/口
団体・法人	2000 円	30,000 円/口

#### お申込み方法

① いずれかに【氏名・住所・口数】をお送り下さい  
NCM ジャパン事務局

・メール [ncmjapan.ncm@gmail.com](mailto:ncmjapan.ncm@gmail.com)

②口座にお振込下さい。

●ゆうちょ銀行

口座番号が新しくなりました

【口座番号】00190-8-421766

【名義】トクヒ)エヌシーエムジャパン

●他の金融機関

【店名】019(ゼロイチク)

【店番】019

【預金種目】当座預金

【口座番号】0421766(※末尾の1は不要)

発行者:特定非営利活動法人 NCM ジャパン

東京都認証(設立認証:2015年6月4日)

代表理事:篠澤俊一郎

東京事務所 東京都中野区弥生町 2-39-11

京都事務所 京都市右京区太秦安井辻ノ内町 10 番地 1 号

メール:[ncmjapan.ncm@gmail.com](mailto:ncmjapan.ncm@gmail.com)

HP:<https://www.ncmjapan.org/> SNS:Twitter @ncmjapan